

平成 27 年度第 3 回石巻市震災復興推進会議における委員意見への対応状況について

○魚市場（漁港）の水深について

（趣旨）漁港の一部に水深が浅い箇所があり、岸壁に着いた大型船の船底が着いてしまうという話を聞いたが、どのように対応する予定か？

（回答）【水産課】

現在、宮城県が浚渫工事を計画中（超低温冷蔵施設前、延長 180m、幅 50m、浚渫量 5,500m²）であり、海苔やかき養殖の水揚げ時期と重なるため、平成 28 年 4 月下旬着工、6 月頃完成で調整中とのこと。

○複合文化ホールについて

（趣旨）複合文化ホールの再建について、復旧・復興事業スケジュールには何も記載されていない。せめて、項目として載せることはできないか？

（回答）【複合文化施設開設準備室】

複合文化施設の建設場所をトゥモロービジネスタウン（TBT）に決定し、現在、複合文化施設整備基本計画を策定しており、本年度中には公表・パブリックコメントを実施する予定です。あわせて、復旧・復興事業スケジュールの項目としても掲載しました。（別紙参照）

○石巻立町復興ふれあい商店街の使用期限について

（趣旨）今年度末で使用期限が切れる仮設店舗について、移転先が決まっていない店があると聞いたが、どのように対応する予定か？

（回答）【商工課】

入居者からの要望もあり、平成 27 年 12 月末の閉鎖予定を平成 28 年 10 月末へ延長する予定です。今後、入居事業者の再建を促進するため、外部アドバイザーによる相談会等の実施及び市独自の支援策を検討しています。

○復興公営住宅の募集（随時）方法について

（趣旨）入居者が決まらない復興公営住宅について、随時募集に切り替わった際の対応について改善が必要ではないか？

（回答）【復興住宅課】

復興公営住宅については、一定の公募期間を超えても入居希望がなかった場合は随時募集に切り替えることとしており、次の方法で入居者を決定しています。

- ①窓口開始時間（午前 9 時）の時点で、随時募集への申込者数が募集戸数を超えた場合は、入居者をその場で抽選により決定します。
- ②午前 9 時以降に申し込みがあった場合は先着順で受付します。

随時募集の申込み受付においては、希望者が申込みのために早朝から並ぶ負担を軽減するとともに、万が一、募集戸数を超える希望者が受付開始時に申込みに来ていた場合の事故を防止するため、上記の方法で募集を行っています。

また、随時募集となった住戸については、公募を行っても入居希望者がいなかった住戸であり、募集開始と同時に申込みが殺到することは考えにくいため、専用の窓口は設置していません。

随時募集の方法については、今後もホームページ等を通じて市民の皆さまへの周知に努めてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

○復興公営住宅の集会所について

(趣旨) 復興公営住宅の集会所の防音設備はどの程度か？また、町内会の活動で使用することは可能か？

(回答) 【住宅管理課】

遮音性能は住宅と同等程度です。復興住宅に併設する集会所は原則入居者で組織する団地会に管理をお願いしています。(一部町内会管理あり)

町内会管理の集会所として使われるということであれば当課(建設部住宅管理課)まで御連絡願います。なお、臨時的な使用であれば団地会に御相談いただきますようお願いいたします。